



■キーワード

京都 世界 有形・無形文化遺産 保存・活性化 国・公・私連携 人材育成

京都から世界への発信
文化芸術都市京都の文化遺産の保存・活性化を支える教育

■研究の概要

古都京都には、多くのユネスコ世界文化遺産及び2003年にユネスコが採択した「無形文化遺産の保護に関する条約」で明示された多くの無形文化遺産があります。また京都市では、京都の優れた文化・芸術を保存、再生、創造する取組を進めるとともに、文化芸術都市として創生することを目指し、2006年に「京都文化芸術都市創生条例」を施行し、2007年には同条例に基づく「京都文化芸術都市創生計画」が策定されています。

本取組は、上記創生計画を推進する京都市との連携を基盤に、京都工芸繊維大学、京都市立芸術大学、京都産業大学、京都ノートルダム女子大学の国公私立4大学がそれぞれの教育研究資源を集結し、京都の有形・無形文化遺産の保存・活性化を支える人材育成プログラムの開発・実施を通じて地域の活動に貢献するとともに、将来目標として、国際協力の側面から本取組により開発したプログラムを京都から世界に発信するものです。

■研究技術のプロセス／研究事例

(1) 国内EXPO「Hello!伝統工芸～伝統との4つの出会い～」

本プロジェクトのパイロット・スタディとして、2009年9月に本学の美術工芸資料館にて、京都の伝統工芸をより身近に感じて頂くための展示会を開催しました。“出会い”をテーマに、小学生・大学生・留学生といった学生を主な対象とし、「本物と出会う/生活で出会う/地域と出会う/体験で出会う」といった、伝統工芸との4つの出逢いを提案しました。会期中は、大学生の他に小学生や地域の方々など1週間で約800名の方が足を運んでくださり、充実したEXPOとなりました。

(2) 海外EXPO「KYOTO DESIGN now&then」

2010年3月にイギリスのリーズ大学にて展示会・シンポジウムを開催しました。展示会では、約100年前の本学生徒作品と、現在本学にてデザインを専攻する学生が、金彩・鍍金具・京瓦などの伝統技術を用いた作品を展示しました。シンポジウムでは、伝統工芸・文化をテーマに4大学の先生方と京都市の方が講演をされ、また金彩を簡単に体験できるハンカチ作りを参加者の方と行いました。

(3) 第2回フォーラム「ことばの力 ものの力」

2010年4月28日に本学センターホールにて開催しました。本フォーラムの趣旨説明や活動報告の後、詩人の谷川俊太郎氏と陶芸家の鯉江良二氏の両氏により、「ことばの力 ものの力」について語る対談を行いました。参加者は総勢1,000名を超え、見て、聴いて、感じていただくことのできる場となりました。またフォーラム後には茶話会を開催し、参加者には、谷川氏作の詩『朝のリレー』にちなんでオリジナルの和菓子とともに、鯉江氏作の茶碗により抹茶を振舞いました。



国内EXPO「Hello!伝統工芸～伝統との4つの出会い～」



海外EXPO「KYOTO DESIGN now&then」



第2回フォーラム「ことばの力 ものの力」対談



第2回フォーラム「ことばの力 ものの力」会場

■セールスポイント

京都工芸繊維大学、京都市立芸術大学、京都産業大学、京都ノートルダム女子大学の国公私立4大学が教育研究資源を集結し、京都の有形・無形文化遺産の保存・活性化を支える人材育成を通じて地域の活動に貢献します。